

【別紙3】(別紙様式第30号：Ⅱ経理の状況)

3. 株主資本等変動計算書

自 年 月 日から

至 年 月 日まで

	株主資本									評価・換算差額等				新株 予約権	純資産 合計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主 資本 合計	その他 有価証 券 評価差 額金	繰延 ヘッ ジ損 益	土地 再評 価差 額金	評 価・換 算差 額等 合計			
		資本 準備金	その他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金										利益 剰余金 合計
						×× 積立金	繰越 利益剰余金									
前事業年度末残高	Xxx 千円	Xxx 千円	Xxx 千円	Xxx 千円	Xxx 千円	Xxx 千円	Xxx 千円	Xxx 千円	△xxx 千円	Xxx 千円	Xxx 千円	Xxx 千円	Xxx 千円	Xxx 千円	Xxx 千円	
当事業年度変動額																
新株の発行	xxx	xxx		xxx						xxx					xxx	
剰余金の配当					xxx		△xxx	△xxx		△xxx					△xxx	
当期純利益							xxx	xxx		xxx					xxx	
自己株式の処分									xxx	xxx					xxx	
.....																
株主資本以外の項目 の当事業年度変動額 (純額)											xxx	xxx	xxx	xxx	xxx	
当事業年度変動額合計	xxx	xxx	二	xxx	xxx	二	xxx	xxx	xxx	xxx	xxx	xxx	xxx	xxx	xxx	
当事業年度末残高	xxx	xxx	xxx	xxx	xxx	xxx	xxx	xxx	△xxx	xxx	xxx	xxx	xxx	xxx	xxx	

(記載上の注意)

1. 当該事業年度に係る株主総会等で承認された内容を記載すること。
2. 本表は、有価証券報告書をもってこれに代えることができる。
3. 株主資本の変動事由及び金額の記載は、概ね貸借対照表における記載の順序によること。
4. 株主資本以外の項目について、当事業年度変動額を、変動事由ごとに記載することができる。この場合には、変動事由及び金額の記載は、概ね貸借対照表における記載の順序によること。
5. その他資本準備金、その他利益準備金、及び評価・換算差額等は、上記の科目以外の適当な名称を付した科目に細分し、記載することができる。
6. その他利益剰余金及び評価・換算差額等は、科目ごとの記載に代えて合計額を、前事業年度末残高、当事業年度変動額及び当事業年度末残高に区分して記載することができる。この場合には、科目ごとのそれぞれの金額を注記すること。
7. 合計欄の記載は省略することができる。